令和７年11月定例教育委員会

○　開催概要

○　開催日時	令和７年11月25日（火）13時00分～13時54分
○　開催場所	県庁22階　教育委員室
○　出 席 者 （委員等）	教育長　柳　橋　常　喜 委　員　幡　谷　史　朗 委　員　庄　司　一　子 委　員　富　田　敬　子 委　員　伊　藤　道　子 委　員　磯　部　大吾郎 委　員　森　淳　一
（事務局職員）	総務企画部長　川和田　由紀子 学校教育部長　庄　司　一　裕 総務課長　山　本　晃　裕 教育企画室長　富　樫　仁　彰 財務課長　武　村　知　己 生涯学習課長　増　子　靖　啓 文化課長　真　木　陽　水 私学振興室長　平　賀　靖 教育改革課副参事　宮　尾　徹 義務教育課長　山　口　英　司 高校教育課長　深　澤　美紀代 特別支援教育課長　仲　野　祐　二 保健体育課長　高　橋　清 生徒支援・いじめ対策推進室長　平　山　健　治

○　議　案

議　題	案　件　名	担　当　課	公開・非公開の別
１　報告			
１	次期茨城県教育振興計画（いばらき教育プラン）について	総務課	公　開
２　議案			
第41号議案	指定管理者の指定についての議案に対する意見について	総務課、生涯学習課、文化課、保健体育課	非公開
第42号議案	義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部を改正する条例案に対する意見について	総務課	非公開

第 43 号議案	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案に対する意見について	総務課	非公開
第 44 号議案	令和 7 年度茨城県一般会計補正予算案に対する意見について	財務課	非公開
第 45 号議案	茨城県教育職員免許状再授与審査会委員の任命について	教育改革課	非公開

※非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○　会議録

１　開　会

教育長による開会の宣言後、非公開審議項目について提案し、各委員から了承された。

２　議　事

(1) 公開審議

発　言　者	発　　言　　内　　容
【報告１】 次期茨城県教育振興計画（いばらき教育プラン）について	
教育企画室長	資料①に基づき説明
（主な質疑・意見等）	
幡　谷　委　員	詳細なご説明ありがとうございました。スケジュールに２月にパブリックコメントとございますが、過去のパブリックコメントでの反応やご意見が多かった傾向、また、こういうパブリックコメントをしていますという告知・周知といったことについてご説明をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
教育企画室長	このパブリックコメントにつきまして、まず、告知・周知ですけれども、政策企画部で県総合計画のパブリックコメントとして、周知をするとしてございます。パブリックコメントの中身は様々ございますけれども、教育の内容につきましては、今手元に情報がないものですから、確認してお知らせさせていただければと考えております。
幡　谷　委　員	教育に関しましては、皆さんの関心がかなり高く、ますます高まっていると感じておりますので、ぜひ、どのようなご意見があったのか、またそれに対してどのような反映ができたのが、できなかったのかも含めて教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
富　田　委　員	教育には限らないのですけれども、県内の格差がいろいろな意味で広がっているように感じます。経済面もそうですし、人口も県北はどうしても減っており、通勤圏の人口が減少している。 教育に関しましても、過疎化の進行や外国籍の児童生徒の増加など、いろいろな意味での県内の格差というのが進行しているように私は受け取っております。 今回総合計画ということで、もちろん県の会議としての施策であることはわかるのですけれども、少なくとも教育に関しては、何かその県内の教育格差がこれ以上広がらないような視点がどこかに盛り込められたらいいのかなと感じております。
森　　委　　員	現行の数値目標について、大学進学率を目標にした理由についてお伺いしたいと思います。 目的意識を持って大学に行くなら良いのだけれども、目的意識を持っていないまま大学に行くという人と、目的意識を持って自分の人生の主体性を持って専門学校に行って勉強して、こういう仕事に就くんだという人とを比べたときに、後者の方が、社会で活躍できる人材であるかなという感想を持っています。 大学進学率を本当に目標にして良いのかというところが気になり質問

	させていただきました。
高校教育課長	委員ご指摘のとおり、この大学進学率については、ただ大学に行けば良いといったことではなく、世の中の産業構造が変化しておりまして、高度な知識や技術が必要な社会において、そのような知識・技能を身につけるために、１つの指標として大学というところを考えているということであって、もちろん、やりたいことが専門学校や特別な専門の学校などでしっかり身につくということであれば、そのような進路を妨げるものではありません。１つの指標として、大学進学率というところを入れている次第です。
森　委　員	大学進学率というのは、各学校それぞれの状況に応じて、目標を立てるものなのでしょうか。
高校教育課長	この大学進学率の対象校は決まっておりまして、就職から進学まで生徒の多様な進路希望に対応する学校として、昨年度は 31 校を対象校としております。 大学進学率が高い高校がございますが、そうではなく、就職から大学まで幅の広い進路希望に対応する高校において、さらに高度な知識を学ぶために、大学に進学することを後押しするような、そのような内容になっております。
庄　司　委　員	資料３ページの「「新しい人材育成」へのチャレンジ」のところで、⑬と⑮についてお伺いしたいのですけれども、まず、⑬の「日本一、子どもを産み育てやすい県」ということで、目標とするならやはり日本一ということを掲げたいというお気持ちは十分理解できるのですけれども、最近では流山市が非常に積極的にこれを進めておりまして、人口も増えているということですが、茨城県としては、日本一というのを達成できる目標、見通しみたいなものがどれくらいあるのかということが１つ。 それから「新たな総合計画における主な取組例」の中に、「ヤングケアラーの支援」が加えられていますが、このヤングケアラーへの支援は、どちらかというと子どもたちを想像するのですが、そういう意味でこの「日本一、子どもを産み育てやすい県」というところに入っていることに私は違和感を覚えたのですが、その辺のところご説明をお願いいたします。
教育企画室長	この「日本一、子どもを産み育てやすい県」の部分ですけれども、子育ての指標や見通しは福祉部の所管になり、この取組や指標といったものは、素案と言いますか、たたき台の項目出しであるもので、今後の見通しや具体的な取組につきましては、次のタイミングで出てくるということでございます。 その指標の設定や取組内容といったものは、申し訳ございませんが、できる範囲にはなりますが、次の機会にご説明させていただければと考えます。 ヤングケアラーの位置付けにつきましても、同様に素案の段階で確定的なものではないものですから、その辺りも含めて確認させていただき、次回ご説明できるようにしたいと考えます。
庄　司　委　員	私は、子どもたちの多様化に対応する教育環境の充実といったものが

	どこかにあってもいいのかなと思います。これからますます子どもたちが多様化していくと思いますし、そういう子どもたちが増加すると思いますので、魅力ある教育環境のところに入ってもいいのかもしれませんが、そのように考えました。 　それからもう１点、外国人材に選ばれる茨城を掲げるということで、見直すポイントのところにも強調してあげられているのですけども、今現在、政治の面でも、外国人の受入れに関していろいろ議論されていると思います。そのあたりは茨城県としての方針と言いますか、受入れをどのように進めていくのか、認めるのかということについて何か検討しておられる点があれば教えていただけますでしょうか。
教育企画室長	外国人の受入れにつきましては、労働といった部分を中心とした分野かと思いますので、教育の部分ではお答えしづらい部分があるのですが、今までの議論の中では、排他的にではなく、地域に外国人がいないと成り立たないというような共生という考え方のもと、お子さんの教育をしっかりと受け止められるようにということで位置付けて進めているということで理解しております。
庄司委員	その労働力とした外国の方の受入れというところ、そういう観点で進めていいのかといったことが最近いろいろ議論されていると思うので、県としても慎重になるべきところと積極的になるべきところというのは、検討していただけたらありがたいなと思いました。
森委員	資料６ページの魅力ある教育環境の主な取組例の１つに「家庭教育の推進」の記載がありますが、これはどのようなことを想定されているのでしょうか。
教育企画室長	この部分は、就学前教育、家庭教育ということで、幼児教育と小学校教育の接続などといったところで、家庭も含めて教育を推進していくということと理解しております。
森委員	教育委員会として家庭に対して何か働きかけをするということでしょうか。
生涯学習課長	家庭教育は、生涯学習課の就学前教育・家庭教育推進室で所管をしております。幼稚園と小学校を結ぶかけ橋と言いますか、幼稚園と小学校を円滑に接続するための就学前教育と、いろいろな問題がある家庭やお子さん、教育ができない方への支援を行っております。 　家庭教育ですけれども、例えば、市町村の職員が直接家庭に出向く訪問型の支援や、いろいろな集会所や学校などで開いた家庭教育学級などへの講師の派遣といった支援を行っております。
幡谷委員	資料９ページの現行の茨城県総合計画における数値目標の「教育庁関連部分抜粋」の記載でございますが、この他にたくさんの指標がまだおありになるということでよろしいでしょうか。
教育企画室長	はい。いろいろな分野でたくさん指標がございます。
幡谷委員	教育庁関係でもまだたくさんあるということでしょうか。
教育企画室長	教育関連ではこれが全てです。
幡谷委員	その数値に置き換える部分はこれだけということでしょうか。
教育企画室長	数値に置き換えられて、県計画の指標として設定しているものがこの10指標ということになります。

幡　谷　委　員	定量評価はあるのですけれども、定性評価のところはなかなか難しいということでしょうか。
教育企画室長	そうですね、数値目標として設定でき、また、県計画の中で適当なものということで設定しております。
幡　谷　委　員	基本的に県の総合計画というのは、数値でしっかり目標を設定して、後追いをして、Plan・Do・Check・Action をするということですね。

(2) 非公開審議

発　言　者	発　言　内　容
【第 41 号議案】 **指定管理者の指定についての議案に対する意見について**	
総　務　課　長	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審　議　結　果	可　決

発　言　者	発　言　内　容
【第 42 号議案】 **義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部を改正する条例案に対する意見について**	
総　務　課　長	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審　議　結　果	可　決

発　言　者	発　言　内　容
【第 43 号議案】 **職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案に対する意見について**	
総　務　課　長	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審　議　結　果	可　決

発　言　者	発　言　内　容
【第 44 号議案】 **令和７年度茨城県一般会計補正予算案に対する意見について**	
財　務　課　長	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審　議　結　果	可　決

発　言　者	発　言　内　容
【第 45 号議案】 **茨城県教育職員免許状再授与審査会委員の任命について**	
教育改革課副参事	資料（非公開）に基づき説明
	（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）
審　議　結　果	可　決

３　閉　会

教育長が閉会を宣言した。